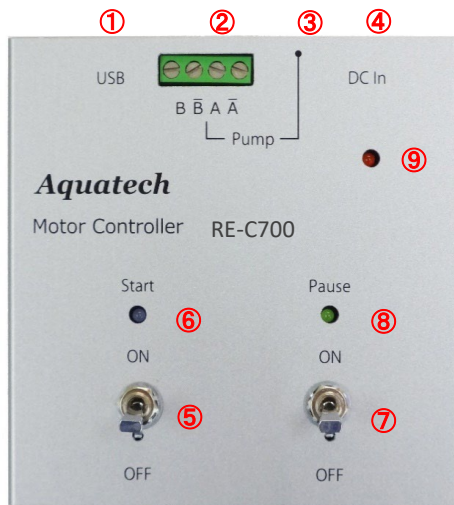
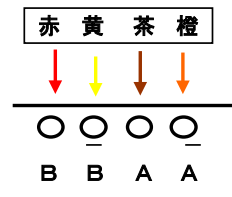


## RE-C700 Ring Pump RP-Hシリーズ専用

### 低電圧バイポーラーステッピングモーターコントローラー製品仕様

品名	低電圧バイポーラーステッピングモーターコントローラー
機種名	RE-C700: コントローラー
適用Pump	RP-H シリーズ専用
駆動電圧	VM=5.2V(固定)
入力電圧	RE-C700: DC5V 1.0A (AC-DCアダプター: AC100-240V 50/60Hz: 付属品)
制御方式	バイポーラーコイル用電圧駆動方式
励磁方式	1/4マイクロステップ駆動方式
モーター速度	1~1000PPS(4Hz~4000Hz) デジタル分周
機能	PCソフトウェアによる各種制御 SINGLE-MODE PROGRAM-MODE
接続端子	RE-C700: サイズ: 100×100×34mm



- ① USB接続端子(USB A-microB: 付属品)
- ② Pump接続端子-1
- ③ Pump接続端子-2
- ④ DC-IN端子
- ⑤ Start-SW
- ⑥ Start-LED(青)
- ⑦ Pause-SW
- ⑧ Pause-LED(緑)
- ⑨ Power-LED(赤)

付属品	RE-C700 : ・Type_A-micro_B USBケーブル ・USBメモリー(PCソフトウェア) ・AC-DCアダプター
-----	--

## 適応機種別：モーター速度(PPS指定)とモーター回転数

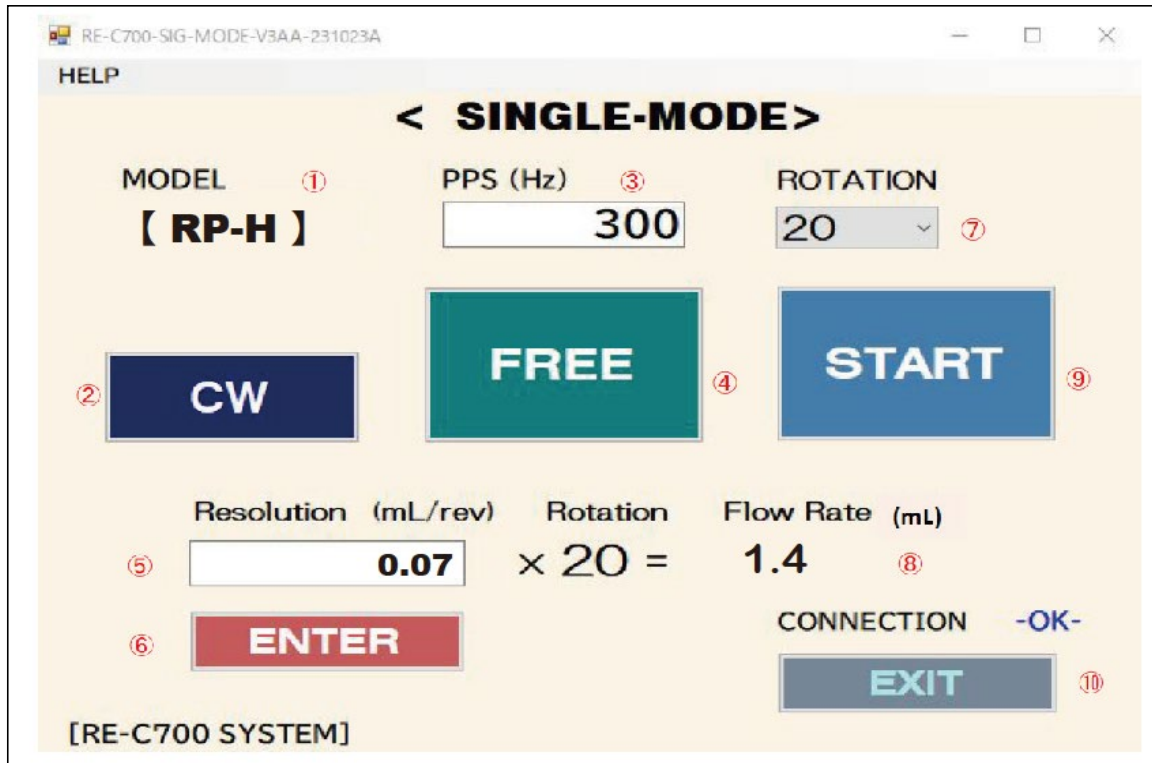
### RP-H(1/5ギア比 & 240Step/1回転モーター仕様)

PPS	1	5	10	50	100	200	300	400	-	-	-	-
モーター回転数 rpm	0.25	1.25	2.50	12.50	25.00	50.00	75.00	100.00	-	-	-	-

#### <特記事項>

- ・吐出量:「1回転の吐出量(mL/rev)」を入力下さい。(ポンプ出荷data添付)
- ・脱調(モーターストップor振動状態)が発生しない範囲での指定制御で使用下さい。

## SINGLE



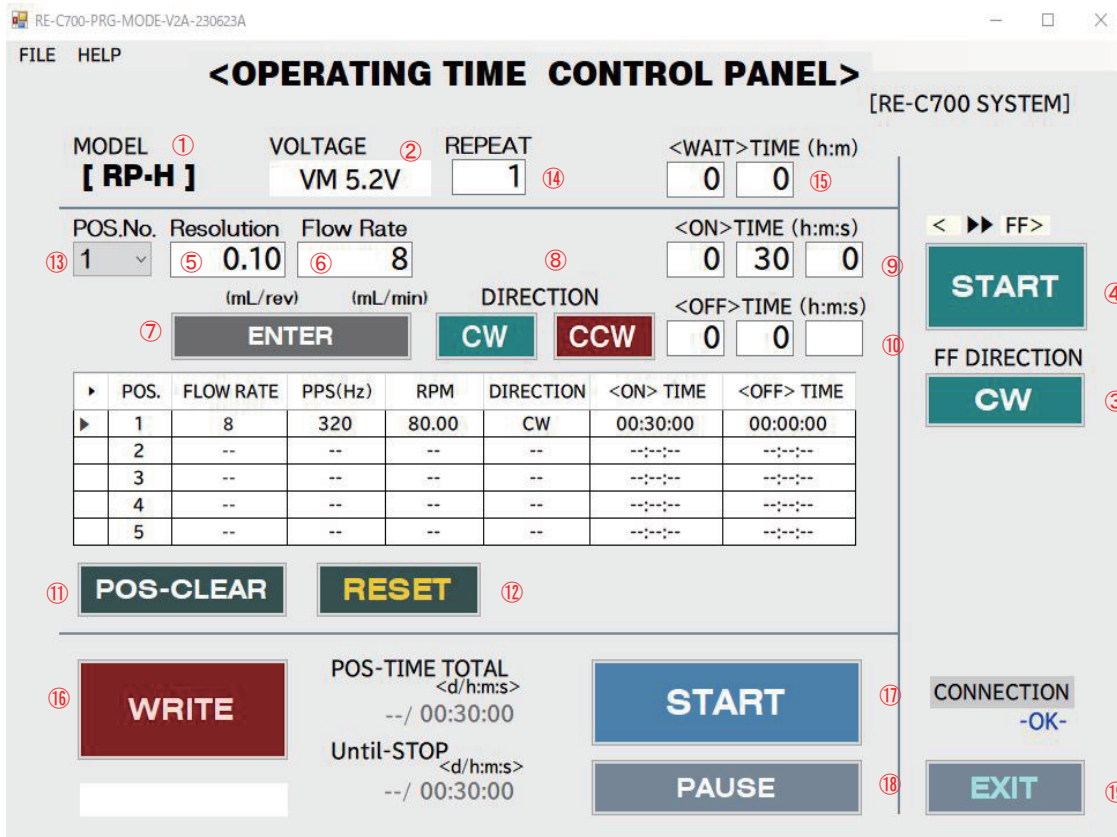
### <動作設定>

- |   |          |  |                   |
|---|----------|--|-------------------|
| ① | MODEL    | Pump : RP-H (専用)   | VM値: 5.2V固定       |
| ② | 回転方向の選択  | クリックして選択   | CW(初期値)/CCWが切り替わる |
| ③ | モーター速度入力 | 1~200PPS(整数値)  | リミッタあり            |
| ④ | FREE     | 上記で設定した内容で動作する溶液を供給する等<br>吐出チューブの先端まで溶液が供給されたら<br>STOPする |                   |

### <定量吐出量設定>

- |   |                      |   |
|---|----------------------|---|
| ⑤ | Resolution「mL/rev」入力 | Pumpに付属されている「1回転の吐出量(mL/rev)」値を入力する   |
| ⑥ | ENTER                | 「mL/min」を確定させる<br>最適の「PPS値」と「回転数値」が自動計算表示される  |
| ⑦ | ROTATIONの指定          | 「mL/rev」から希望の定量吐出量に近い回転回数を指定する<br>「▼」をクリックして選択<br>* 動作するPPS値はPumpの設定別に自動設定されている<br>* 回転回数の指定は「1~30」までとなっている |
| ⑧ | Flow Rate(mL)        | 「1回転の吐出量(mL/rev)」値と「ROTATION」回数から定量吐出量を自動計算する   |
| ⑨ | START                | 動作させる(自動でSTOPする)  |
| ⑩ | EXIT                 | PCとの接続を解除する   |

# PROGRAM



## <初期設定>

- ① MODEL Pump : RP-H (専用)
- ② VM値 VM値 : 5.2V固定
- ③ 早送り動作-1 クリックして選択 CW(初期値)/CCWが切り替わる
- ④ 早送り動作-2 溶液を供給するため適用Pumpの最適の高速動作でSTAT/STOP  
\* 各CHIに接続されたPump-MODELでSTARTして溶液を高速供給する  
吐出チューブの先端まで溶液が供給されたらSTOPをクリックする

## <PROGRAM設定>

- ⑤ Resolution「mL/rev」入力 Pumpに付属されている「1回転の吐出量(mL/rev)」値を入力する
- ⑥ Flow Rate「mL/min」を指定 希望の吐出量(mL/min)を入力する
- ⑦ ENTER ENTERをクリックして「Resolution」と「Flow Rate」を確定させる  
最適の「PPS値」と「回転数値」が自動計算表示される
- ⑧ DIRECTION(回転方向)の選択 CW/CCWの指定
- ⑨ 運転時間 運転時間を設定をする  
\* 00h00m01s~99h59m59sまで設定可能
- ⑩ 停止時間 停止時間を設定をする  
\* 00h00m01s~99h59m59sまで設定可能
- ⑪ POS-CLEAR ⑬のPOS指定でPOS1~POS5を選択後クリアできる(設定の再入力用)
- ⑫ RESET POS1~POS5全てRESETする
- ⑬ POSを指定 「▼」をクリックして選択  
POS1~5までのプログラム条件が設定可能  
⑥~⑩の繰り返しで  
「⑥吐出量・(PPS & RPMは自動計算表示)・⑦ENTER・⑧回転方向・⑨運転時間・⑩停止時間」  
がPOSに反映される  
POS1~POS5までのテーブル設定が可能となっている
- ⑭ REPEAT 設定テーブルPOS1~POS5のREPEAT回数を指定する  
1~99回のREPEAT回数を指定入力する(初期値は「1」)
- ⑮ WAIT TIME(h:m) START時間をズラす事が可能⇒入力した「h:m」

## <書込設定>

- ⑯ WRITE 「PROGRAM」内容を本体のROM(メモリー)へ書き込む(\*書き込んでいる間は「WAIT」)

<動作Mode>

「本体SW-START」  
「本体SW-PAUSE」

\* PCレス 本体のSW(スイッチ)の動作で「START/STOP」させる。  
\* PCレス 本体のSW(スイッチ)の動作で「PAUSE」ON/OFFを切り替える

「PC-START」

- ⑰ START
- ⑱ PAUSE
- ⑲ EXIT

PCに「USB接続した状態」で「START/STOP」動作指示  
\* クリック毎に「START」⇒「STOP」と切替わる  
PCに「USB接続した状態」で「PAUSE」動作指示  
\* クリック毎に「PAUSE」⇒「RESTART」⇒「PAUSE」と切替わる  
PCとの接続を解除する

\*PC側から制御する場合は本体SWの「START」「PAUSE」は必ず<OFF>にして  
ください。動作が不安定になる場合があります。

<SAVE-FILE / OPEN FILE>

①SAVE -FILE  
②OPEN-FILE

- ① SAVE-FILE
- ② OPEN-FILE

プログラムした内容を保存できます。(任意のファイル名)

保存されているプログラムを呼び出します。

\* プログラムを呼び出したら、プログラム内容を「WRITE」キーをクリックして本体に書き込んで下さい。